


## 1 1 授業のユニバーサルデザイン化アイデア事例

認定こども園・幼稚園・保育所

アイデア名	もってかえるものはなに？
目的	帰りの準備の時、教師が口頭で伝えるだけでは不安になる子の不安感をとりのぞく。
写真 イラスト	<p>持って帰るものを絵や文字でも知らせることによって、自分で確認して帰る用意ができるようにしている。</p> 


認定こども園・幼稚園・保育所

アイデア名	ロッカーやお道具箱の整理整頓の仕方
目的	ロッカーやお道具箱の整理整頓を意識できるようにする。
写真 イラスト	<p>きれいに整理されたお道具箱を写真にとり、ロッカーの近くに貼っておく。</p> 


認定こども園・幼稚園・保育所

アイデア名	レインボースリッパ
目的	トイレスリッパをきちんと揃える。
写真 イラスト	<p>明るくカラフルな色だと子どもたちも喜んで揃えようとする。スリッパを置く位置に、同じ色のテープで印をつけておくことで、より揃えやすくなった。</p> 

小学校

アイデア名	宿題の指導「ミニ花丸」
目的	<p>大きな花丸をなかなかつけられない子には、上手に書けた文字に「ミニ花丸」をつけている。そして、大きな花丸は10個、ミニ花丸は30個ためたらシールをあげるね、と約束し、意欲の向上を図る。</p>
写真 イラスト	<p>上手に書けた文字に「ミニ花丸」をつけ、漢字などの文字練習に主体的に取り組む。</p> 

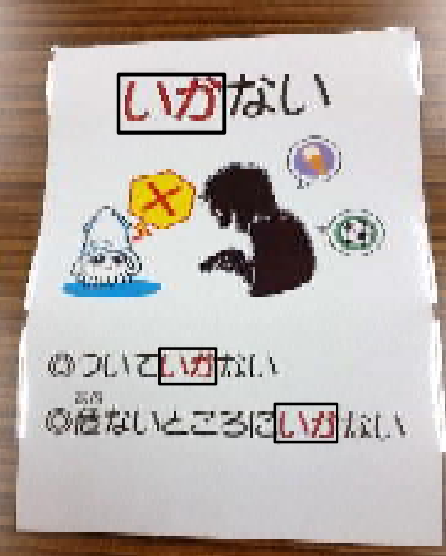
小学校

アイデア名	学習道具カード
目的	目で見えて学習で使うものを掲示することで、授業の見通しや事前の準備ができるようにする。
写真 イラスト	<p>貼り換えは学級の係の児童が行っている。何を使うのかをより意識できるようにしている。</p> 

小学校

アイデア名	ソフトフレキハードル
目的	ハードル走についての恐怖心を軽減させ、意欲的に取り組めるようにする。
写真 イラスト	<p>塩ビパイプと保温チューブを利用し、「柔らかくて開くハードル」を作成した。段ボールでもできるが、耐久性は塩ビパイプの方が高い。</p> 

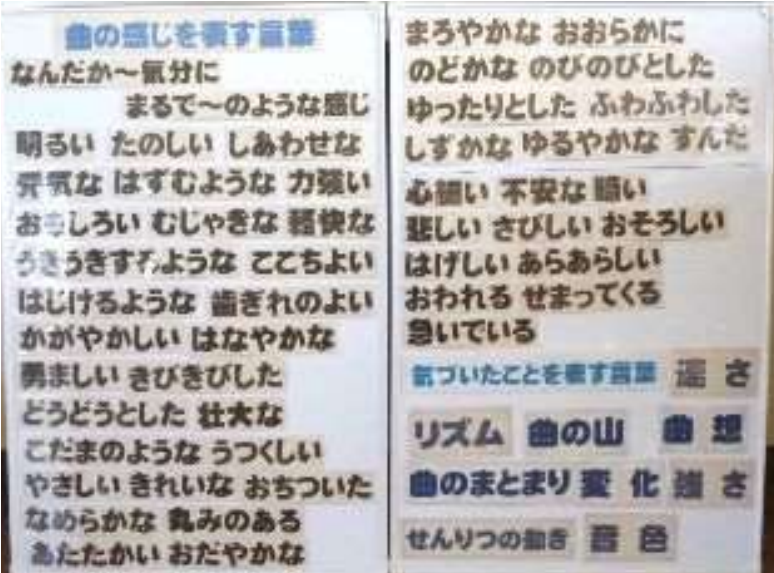
小学校

アイデア名	色を変えて、口（四角）で囲う
目的	色覚異常のある人にも理解しやすいようにする。
写真 イラスト	<p>赤黒の色分けは見えやすいが、色覚異常のある人には見え辛い色の組み合わせとされている。そこで、文字色だけではなく、四角で囲って強調するようにし、誰にでも注意を向けやすくする。</p> 

小学校

アイデア名	数玉グッズ
目的	携帯型の10玉や9玉、8玉、7玉、6玉、5玉を作成し、操作を通して、数の理解をしたり、10までの足し算をしたりする。
写真 イラスト	<p>10までの足し算や数の合成・分解が難しい児童のために針金やビーズで手軽に作ることができる。</p> <p>針金の先の部分でけがをしないように、巻き付けておくと安全である。</p> 

小学校

アイデア名	音楽鑑賞おたすけカード
目的	音楽鑑賞の時間、曲想や曲の特徴を言葉で表しやすくする。また、どんなところに注目して曲を聴けばよいのか、めあてを持って鑑賞しやすくする。
写真イラスト	<p>曲の感じをあらわす言葉のカードを参考に感じたことを確認したり、曲の特徴である速さ、リズムなどのカードで、めあてを持って曲を聴いたりすることで、鑑賞の課題をより取り組みやすくする。</p> 

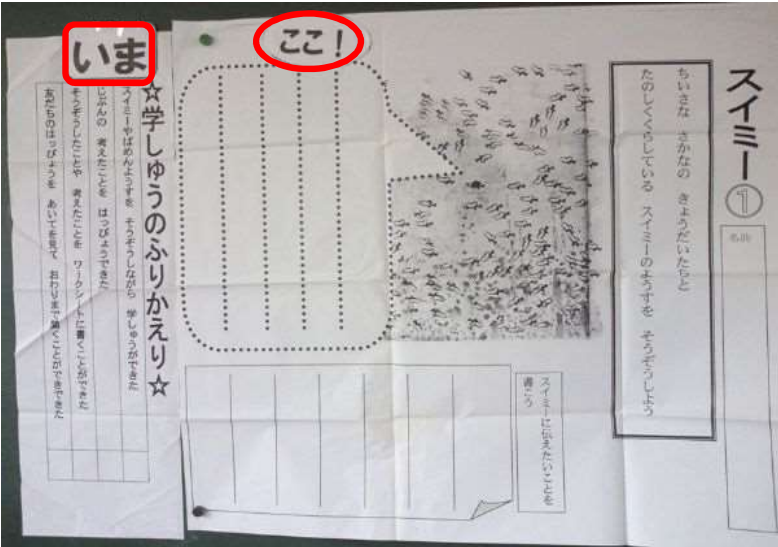
小学校

アイデア名	4色の部屋（マス目）
目的	正しい（形のよい）文字を書きやすくする。
写真イラスト	<p>4色の部屋（マス目）を意識させることで、書き順や文字の形が正しく書けるようにする。1の部屋・2の部屋など、数字を書き添えておくことも有効である。</p> 


小学校

アイデア名	理科実験器具表
目的	理科の実験器具の名前を興味をもって覚えられるようにする。
写真 イラスト	<p>表記をめぐったら単元に使う実験器具の名前などを確かめられるので、実験に主体的に取り組める。</p> 

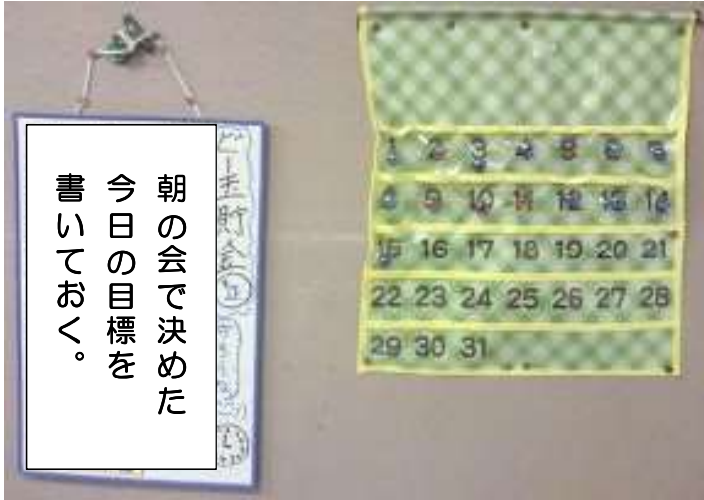
小学校

アイデア名	いま・ここ カード
目的	今している課題を意識しやすくする。
写真 イラスト	<p>いま・ここカードを児童自身が移動させて、自分で作業を確認する。板書を写す時や授業の流れのどの部分を学習しているのかを確認するときにも使用した。</p> 


小学校

アイデア名	手をたたきながら促音学習
目的	促音を正しく読んだり、書いたりする。
写真 イラスト	 <p>促音（三角形）は、手をグーにする。拗音（丸と小丸の形）と他の音（丸形）は、手をパンとたたく動作をする。 リズムに乗って、手をグー・パーしながら読むことで、促音の場所をわかりやすくする。</p>


小学校

アイデア名	みんなでビー玉貯金
目的	“できた！”“やればできる！”を実感し、クラスみんなでがんばりを共有する。
写真 イラスト	 <p>みんなが心地よく過ごすためのだいじな行動を意識してできるように、朝の会で目標を決める。日番がボードに書いて視覚的に提示する。クラス全員が守れたらビー玉を貯金する。目標を決めてたまったら、みんなで楽しめる時間をもつようにする。</p>

小学校

アイデア名	教科書の文章に総ルビをつける
目的	音読に参加しやすくしたり、内容を理解しやすくしたりする。
写真 イラスト	<p>デジタル教科書の「総ルビ本文・分かち書き本文」の機能を活用して、学習している単元の漢字全てに読み仮名をつける。印刷したものを貼り合わせて冊子形式にすると、授業でも使いやすく、意欲的に音読に参加できる。</p> 


特別支援学校

アイデア名	ここに立つんだよ
目的	どこに並んだらいいかわからない児童や、同じ場所に立っていることが難しい児童に立つ場所を知らせる。
写真 イラスト	<p>体育館の床や運動場に置いて、自分の位置の目印とします。小さなフープを使うのも有効である。</p> 


中学校

アイデア名	給食袋の紐の色を変える
目的	給食当番のエプロンで、自分のがわかりにくい生徒のために、エプロン袋の紐の色を変える。
写真 イラスト	<p>自分の給食エプロンを見つけるのが難しい生徒が、紐の色が違っていたら一目で見つけることができるようになる。番号と併用するとよりわかりやすい。</p> 

中学校

アイデア名	ICT機器を活用する
目的	学習内容が視覚的にわかるようにする。
写真 イラスト	<p>学習内容によって、パソコンや実物投影機、液晶プロジェクタなどを効果的に使用する。特に興味・関心を引き出すうえで大変有効である。映像と板書のよさを両立させることが大切である。</p> 

## 中学校

アイデア名	あいさつのしかたのユニバーサル化
目的	小学校から入学してきた1年生の生徒が、集会や授業などでのあいさつの手順をわかりやすくするために、あいさつの手順を統一する。
写真 イラスト	<p>1年生の生徒が学校生活で困っていることとして、「あいさつの順番（先に頭を下げるのか先に言葉を言うのか）がわかりにくくて、集会のたびにどうしていいかわからなくなってしまった」と訴えがあった。学年会議で話し合い、あいさつのしかたを「語先後礼」（言葉が先で礼が後）に統一しようということになり、学年集会で全員に伝えてあいさつのしかたを実際に練習し、これを下図のようにポスター掲示した。</p> <div data-bbox="400 824 1190 1413" data-label="Image"></div> <p>あいさつ以外にも、当たり前なこと、暗黙のルールとなっているきまりや習慣などのなかには、生徒たちにとってどのようにしたらよいかわからないものもあると思われる。生徒たちのようすを注意深く観察すること、生徒の声に耳を傾けることは重要である。</p>

